

～平成28年度 当初予算をお知らせします～

② 教育費 [10億8,049万円] ～子どもが健やかに、たくましく育つまち など～

小中学校大規模改造事業

安全安心な教育環境の充実のため、第一小学校東校舎と第三小学校南校舎の大規模改造実施設計、熊野東中学校の普通教室棟改造工事及び武道館屋根改修実施設計・工事を実施します。

学校給食事業

小学校で実施しているデリバリー給食を中学校においても実施することとし、中学校への給食リフト設置工事、給食運搬配膳台の購入を行います。

社会体育施設管理事業

町民グラウンド水路改修工事、冒険広場法面保護改修工事、町民グラウンドの改修実施設計を実施します。

④ 土木費 [8億6,199万円] ～暮らしの基盤が整ったまち・日常生活を快適に暮らせるまち など～

都市再生整備事業

専用住宅地である熊野団地を次世代へつなぐため、住環境を保全し、利便性の高いまちづくりを推進します。計画3年目である今年度も公園・緑地・道路の整備などを行います。

子育て世代「住むならくまの」応援事業

住宅購入費の助成により、若年層の定住を促進し、人口の維持・地域の活性化を図るため、「子育て世代「住むならくまの」応援事業」を実施します。

町道呉出来線改良事業

主要町道である町道呉出来線の狭隘区間（榎ヶ迫交差点付近）を拡幅し交通の利便性と町内交通ネットワークの向上を図ります。

下水道整備事業

公共下水道事業では、新宮地区の、約7.8haの整備を行います。

⑤ 衛生費 [7億4,207万円] ～共に支えあい、健やかに暮らせるまち・地球環境に調和したまち など～

環境衛生事業

家庭用生ごみ処理機の購入及び公共下水道認可区域外の区域において小型浄化槽設置に対する補助金の交付を引き続き実施します。

環境センター事務所棟維持管理事業

老朽化した計量機器いわゆるトラックスケールの更新を行います。

⑥ 公債費 [6億2,942万円] ～町の借金返済に～

⑦ 消防費 [3億2,511万円] ～安全に安心して暮らせるまち～

災害予防及び応急対策事業

旧西公民館解体実施設計・解体工事、（仮称）防災コミュニティセンター実施設計、交流広場実施設計を行います。

⑧ その他 [3億2,779万円] ～元気のある産業が育つまち など～

観光推進事業

熊野町観光大使の「ふでりん」を活用した地域情報やイベント情報の発信などを引き続き行います。

筆産業振興事業

平成28年度に熊野町開催となる「文房四宝まつり」に対して補助を実施し、筆文化の継承を図ります。
※文房四宝：紙、墨、硯、筆



(見方) ※各説明の番号は棒グラフ中の番号と対応しています。

① 予算科目・予算額
～施策目標～

平成28年度の主要事業

問企画財政課 ☎ 820 - 5 6 3 2

平成28年度当初予算が3月定例会で可決されました。

■一般会計 (福祉、道路、教育など町が一般行政を進めるための収入、支出を経理する会計)

一般会計では、引き続き、第5次熊野町総合計画に沿った取り組みを推進していきます。
西部ふれあい広場整備、大型遊具設置等の、熊野団地の住環境を保全し利便性の高いまちづくりを推進する都市再生整備事業、生活福祉交通の運行や生活道路の改良、子育て支援の充実や学校施設の大規模改修などを重点的に推進することとし、予算規模は前年度比1.1%減の85億1,958万円となりました。(※数字については、表記単位未満を四捨五入しています。)

町民1人当たりの予算
34万7,937円

平成28年2月末 現在
人口2万4,486人 (外国人を除く)



一般会計 **85億1,958万円** (対前年度比 1.1%減)

① 民生費 [35億4,195万円]
～共に支えあい、健やかに暮らせるまち など～

都市再生整備事業

西部ふれあい広場の設置工事及び大型遊具の設置工事等を実施します。

保育所運営事業

聖徳幼稚園、第二聖徳幼稚園が子ども・子育て支援新制度に移行することに伴い施設型給付を実施します。

保育所緊急整備補助事業

保育環境の整備を図るため、老朽化の著しい保育所ひかり学園の全面建替えに係る経費を助成します。

③ 総務費 [10億1,076万円]
～筆産地の歴史と文化を生かした出会いと交流のあるまち など～

筆の里工房事業

老朽化対策のため、施設周辺の外構工事等の改修工事を行います。また、スマートフォン等により、常設展示の説明を英語、日本語の音声で聞くことができる環境を整備し、施設の魅力向上に努めます。

生活福祉交通運行事業

平成25年度から本格運行を始めた生活福祉交通「おでかけ号」を、今年度も引き続き運行します。

歳出		歳入	
① 民生費 41.6%	23億2,210万円	町税 27.3%	23億2,210万円
② 教育費 12.7%	6億1,268万円	繰入金 7.2%	6億1,268万円
③ 総務費 11.9%	2億9,434万円	諸収入 3.5%	2億9,434万円
④ 土木費 10.1%	1億8,394万円	その他 2.1%	1億8,394万円
⑤ 衛生費 8.7%	20億3,891万円	地方交付税 23.9%	20億3,891万円
⑥ 公債費 7.4%	13億8,732万円	国庫支出金 16.3%	13億8,732万円
⑦ 消防費 3.8%	5億7,714万円	町債 6.8%	5億7,714万円
⑧ その他 3.8%	5億6,168万円	県支出金 6.6%	5億6,168万円
	5億4,148万円	その他 6.3%	5億4,148万円
		自主財源(町が自主的に収入する財源) 40.1%	
		依存財源(県や国から交付される財源) 59.9%	

■特別会計および企業会計

特定の事業を行うため、一般会計とは別に、その収入支出を経理する会計

会計名	平成28年度	平成27年度	対前年度比
国民健康保険事業特別会計	37億6,894万円	38億153万円	▲0.9%
公共下水道事業特別会計	9億2,340万円	9億3,690万円	▲1.4%
後期高齢者医療特別会計	5億9,507万円	5億8,027万円	2.6%
介護保険特別会計	20億4,828万円	20億3,913万円	0.4%
水道事業会計			
収益的支出	4億8,357万円	4億7,917万円	0.9%
資本的支出	7,084万円	1億2万円	▲29.2%